



「第31回 国公立大学情報システム研究会総会」

(2023年3月10日開催)
総会議事・開催後アンケート結果 (サマリ)

2023年3月
IS研事務局

第31回 国公立大学情報システム研究会総会プログラム

内	容 (発表者名敬称略)
開会挨拶	IS研会長 横浜国立大学 国際戦略推進機構 学長特任補佐 徐 浩源
議 事	IS研 事務局
【論文①】「xR技術を活用した教育DXシステムの実証評価」	金沢大学 学術メディア創成センター 助教 東 昭孝
【北陸ブロックからの事例発表】「IS研北陸ブロック活動報告」	福井大学 総合情報基盤センター 技術職員 吉川 雄也
【東北・関東ブロックからの事例発表】「東北・関東ブロック報告」	山形大学 情報ネットワークセンター 教授 田島靖久
【論文②】「組織内端末のWebアクセスの規則性に着目したプロキシログ中の異常検知」	大阪府立大学大学院 人間社会システム科学研究科 (学生) 名倉 悠, 准教授 青木 茂樹, 教授 宮本 貴朗
【東海ブロックからの事例発表】「東海地区における活動について」	名古屋大学 情報基盤センター 教授 戸田智基
【近畿ブロックからの事例発表】「近畿ブロック活動報告」	大阪公立大学 情報基盤センター 副センター長 (情報学研究科科長) 宮本 貴朗
【論文③】「標的型サイバー攻撃検知技術によるセキュリティ懸念の調査と対応事例」	山形大学 准教授 伊藤 智博
【九州ブロックからの事例発表】「情報セキュリティ対策自己診断システムの構築」	宮崎大学 准教授 青木 謙二
閉会挨拶	大阪公立大学 情報基盤センター 副センター長 (情報学研究科科長) 宮本 貴朗

- ◆日時：2023年3月10日（金） 14:00~17:30
- ◆参加者数：27名（大学関係者のみ）※その他（富士通Japan株式会社）：23名
- ◆参加大学

お茶の水女子大学（1名）、大分大学（2名）、大阪教育大学（2名）、大阪公立大学（2名）、大阪府立大学 大学院（1名）、金沢大学（2名）、北見工業大学（1名）、岐阜大学（1名）、順天堂大学（1名）、長崎大学（2名）、名古屋大学（1名）、一橋大学（1名）、兵庫県立大学（2名）、福井大学（1名）、北陸先端科学技術大学院大学（1名）、宮崎大学（2名）、室蘭工業大学（1名）、山形大学（2名）、横浜国立大学（1名）

議事

1. 議事において、下記議案が参加された会員より了承を得て可決された。

【ご報告】 2021年度 決算報告

－会計監査：宮本先生より監査実施済

【1号議案】 2022年度 決算報告(仮)
2023年度 予算(案)

2. 発表について

論文（3件）、各ブロックからの事例発表（5件）

開催後アンケート結果

1 アンケート概要

2 回答結果

アンケート概要

目的

- ①参加のきっかけ、満足度などを収集し、総会の改善を図る
- ②参加大学の状況・重点テーマ等を収集し、IS研の今後の活動の活性化を図る

実施期間

2023年3月10日（金）～ 2023年3月15日（水）

対象者

本総会参加申し込み者
（IS研会員・その他大学関係者）

方法

記名方式による調査、クアルトリクスアンケート基盤のアンケート機能

アンケート回答状況

◆ 回答数 / 対象者数 : 16 / 27 (大学関係者のみ)

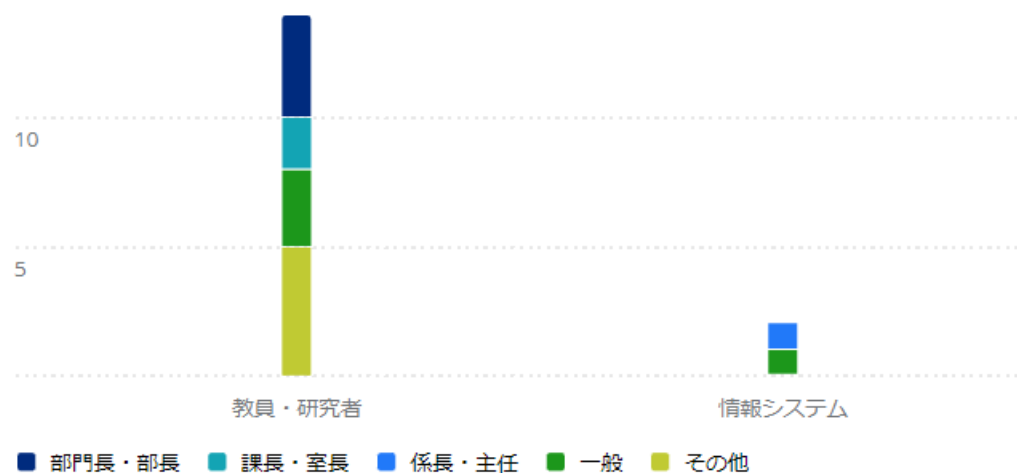
◆ 回答率 : 59.3%

◆ 回答された大学・学校名

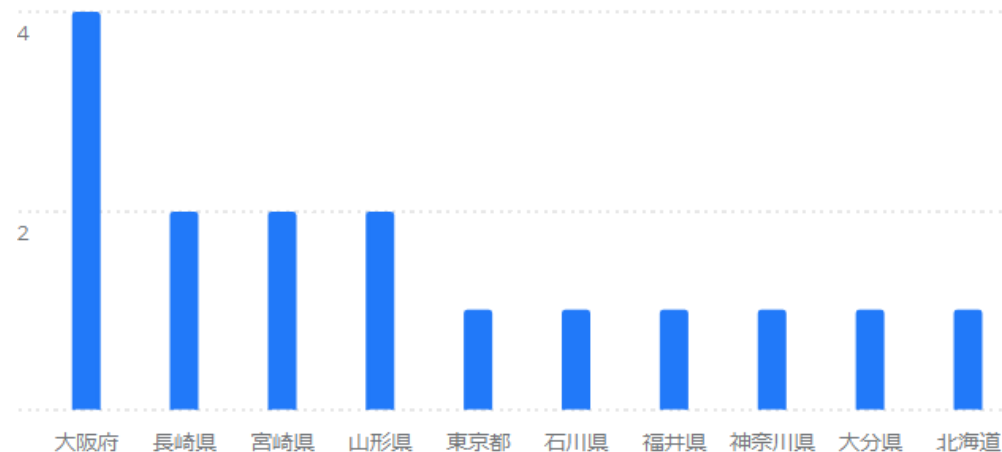
大分大学	大阪教育大学(2)	大阪公立大学(2)	長崎大学(2)
一橋大学	福井大学	北陸先端科学技術大学院大学	
宮崎大学(2)	室蘭工業大学	山形大学(2)	横浜国立大学

アンケート回答者属性

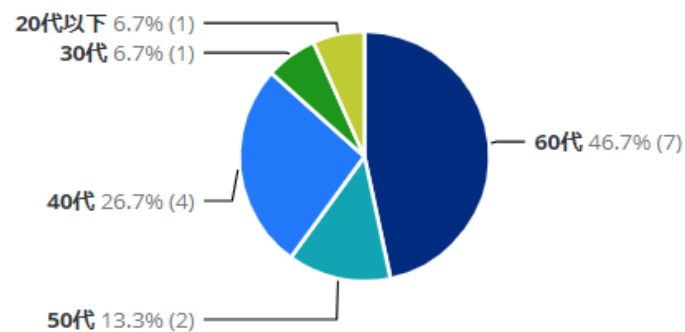
■ 担当業務と役職



■ 都道府県



■ 年齢層



アンケート設問 (1/2)

『各発表からの成果・今後の期待等』に関する設問1～3

1. 有益または参考になった発表を教えてください。
2. 本日の総会の発表で得られた成果(疑問や課題等含めて)をお書きください。
3. 貴学のシステムについてベンダーに期待されることがありましたらお書きください。

『大学の重要課題』に関する設問4～5

4. 以下のテーマについて、貴学での重要性・検討の優先度を教えてください
 - 学修成果を見える化し、継続的な成長を促すことができる学生支援サービス
 - 時間と場所を選ばない学修環境（オンライン・オンデマンドやハイフレックスへの対応）
 - リモートによる学び方・働き方改革
 - 入試手続きのWeb化による入試業務負荷の軽減
 - 学生や保護者からの問い合わせ対応の自動化
 - 情報基盤サービスのクラウドシフトによる管理業務からの解放
5. 4.のテーマ以外に貴学で重要なテーマ・検討の優先度が高いテーマがありましたらお書きください。

アンケート設問 (2/2)

『総会の参加目的・満足度』に関する設問6~9

6. 今回の総会に参加した目的を教えてください。
7. 本日のイベント全体の満足度を教えてください。
8. 満足度評価の理由を教えてください。
9. 総会の以下の項目について、それぞれの満足度について教えてください。
(各ブロックからの事例発表 / 論文発表 / 時間配分 / 当日の運営)

『IS研への期待・意見』に関する設問10

10. IS研について、「こういう風になると良い」「もう少しここをこうして欲しい」等のご意見ご要望がありましたら、自由にご記入ください。

アンケート回答 (1/8)

『各発表からの成果・今後の期待等』に関する設問1～3

設問1

有益または参考になった発表を教えてください。(一部抜粋・省略)



アンケート回答 (2/8)

『各発表からの成果・今後の期待等』に関する設問1～3

設問2

本日の総会の発表で得られた成果(疑問や課題等含めて)をお書きください。 (一部抜粋・省略)

■ 事例が参考になった

- 通信状況から異常検知する仕組みを内製的に実施している大学が多く見られ、大変参考になった。
- DXやセキュリティに関する問題は他大学でも共通しており、その事例を知ることができた。
- 山形大学伊藤先生のご発表。ネットワークセキュリティー製品の有効性について。
- 山形大学では情報科目「情報処理」を外部委託していると知った。以前、武庫川女子大学では外部委託を廃止しており、状況がずいぶんと変わってきたのだな、と思った。

■ 反響が参考になった

- 自身の発表に対しての質疑、コメントがあり、今後の参考になった。

■ 今後の展望・期待

- 実技科目へのDXシステムに、xR技術が使えたらうれしい。
- セキュリティに関する各種取り組みや研究が非常に活発かと思うので、引き続き多面的に取り組んでいきたい。
- 情報教育カリキュラムを数理・データサイエンス関係を連携させる検討を進めており、関係者と早速に情報共有した。今度、先方をお願いして、詳細を教えていただこうと考えている。
- DXに関する具体的な取り組みについての紹介を聞きたい、例えば、教育DX (今回は金沢大学の発表)、事務DX、など。

アンケート回答 (3/8)

『各発表からの成果・今後の期待等』に関する設問1～3

設問3

貴学のシステムについてベンダーに期待されることがありましたらお書きください。 (一部抜粋・省略)

■ 提案

- 電力消費の削減, ライフサイクルを伸ばす技術・製品が欲しい。
- 本学の仕様に則したシステムの提案
- 教育と研究、事務運営などの高度化を情報システムのDXによる支援することを期待する。

■ 大学間連携、橋渡し

- ベンダーから考える大学間の連携、共通事項に関する橋渡しなど

■ 情報提供

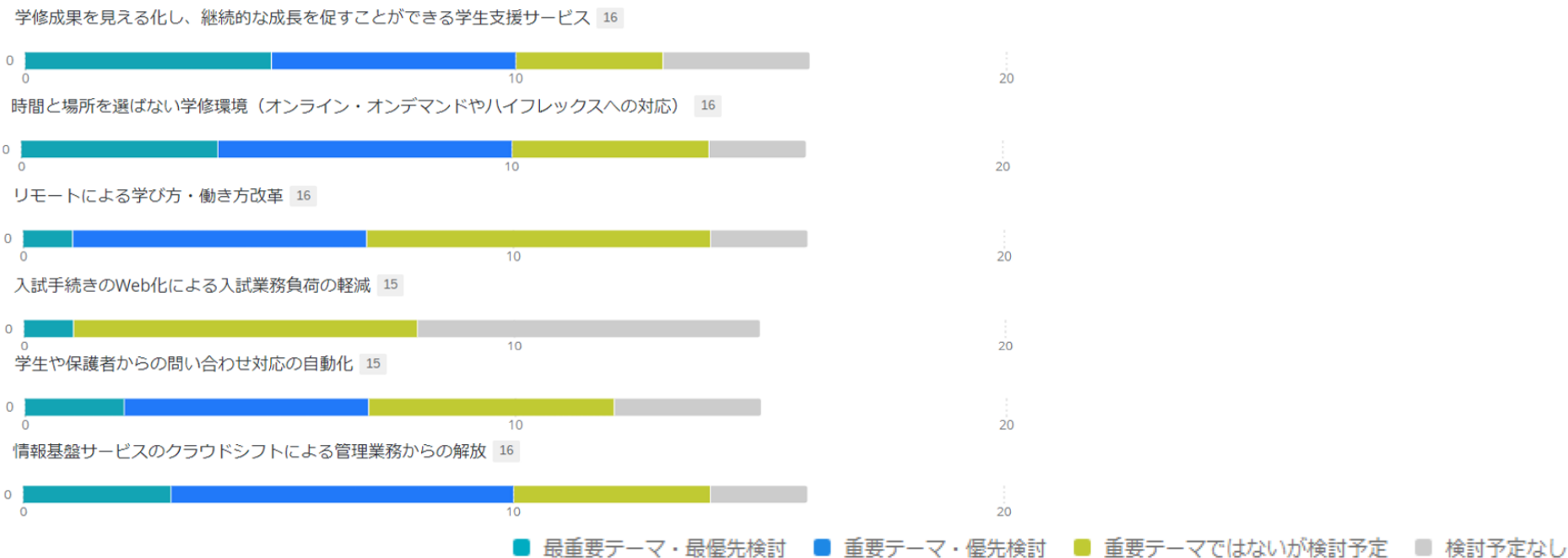
- 最近, 関連情報を紹介される機会が減っている。コロナによる行動制限が緩和されてきたら実施してほしい。

アンケート回答 (4/8)

『大学の重要課題』に関する設問4~5

設問4

以下のテーマについて、貴学での重要性・検討の優先度を教えてください。



設問5

上記以外で貴学で重要なテーマ・検討の優先度が高いテーマがありましたらお書きください。

(一部抜粋・省略)

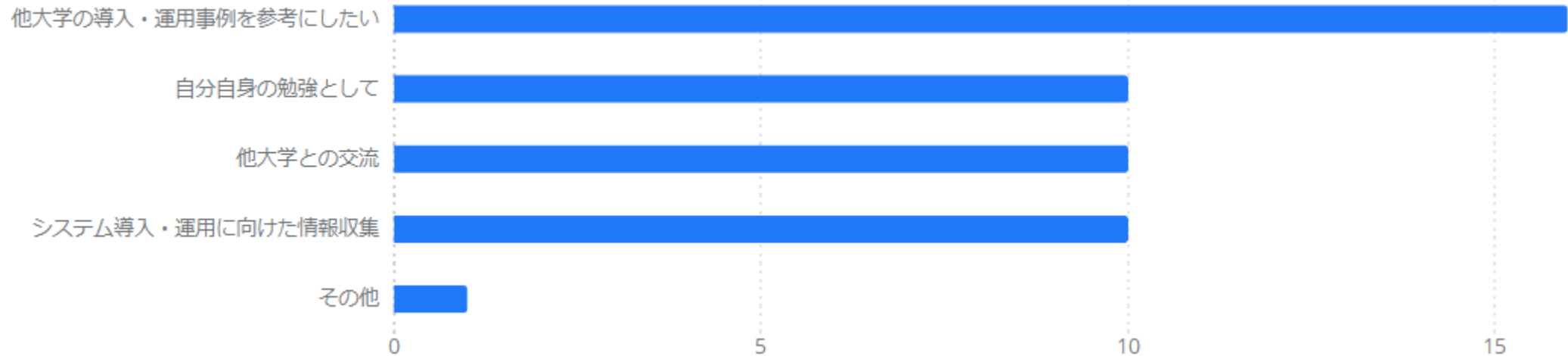
- UIの改善と少子高齢化に対応する教育システム
- システムの効率化。
- 人手不足を解消するため、情報システムの役割。

アンケート回答 (5/8)

『総会の参加目的・満足度』に関する設問6~9

設問6

参加の目的



その他

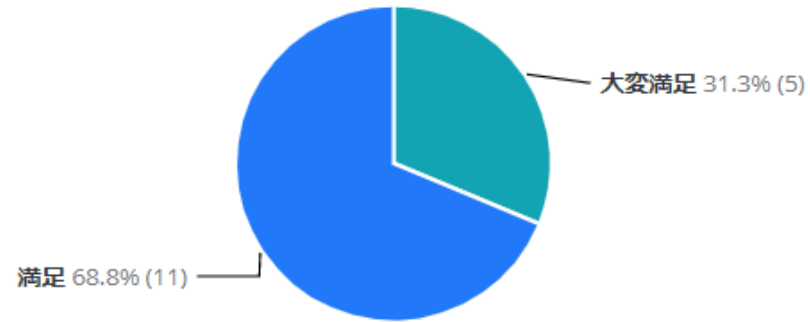
研究会として、学問の自由の元、社会に発表するため

アンケート回答 (6/8)

『総会の参加目的・満足度』に関する設問6~9

設問7

全体としての満足度



設問8

全体満足度評価の理由 (一部抜粋・省略)

- 他大学の現状・意識・研究の取り組みが参考になった。
- 特にセキュリティに関する発表が多かったので、自身の研究分野とも重なって非常に興味深く聞くことができた。
- 研究事例の紹介・発表とメンバー大学の情報システムなどに関する情報交換が上手くできた。
- 各ブロックからの報告内容がとても参考になったから。
- 泥臭い話が聞ける
- 各大学での取り組みを拝聴することで、自学でまだ足りないところを確認できる。

※回答が複数あったものには
下線を引いています。
赤字は特に多かった回答です。

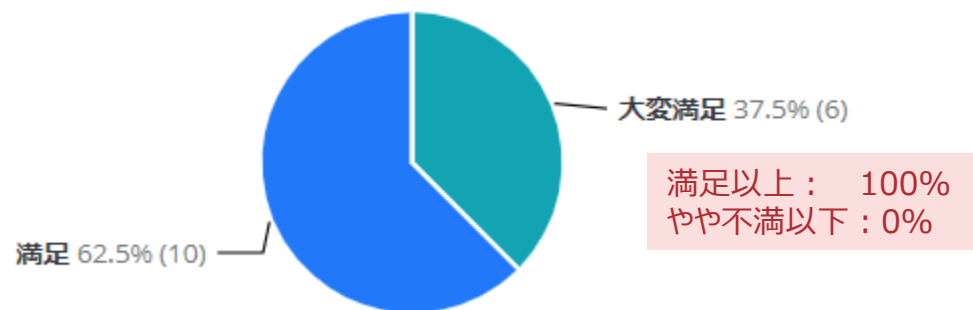
アンケート回答 (7/8)

『総会の参加目的・満足度』に関する設問6~9

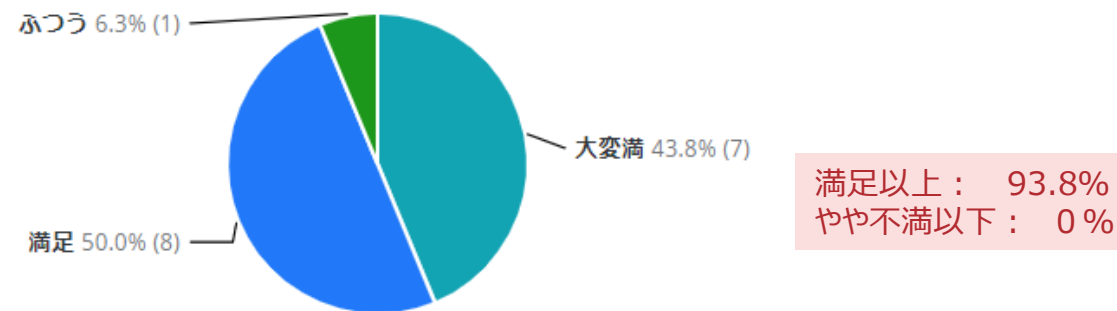
設問9

各観点での満足度について

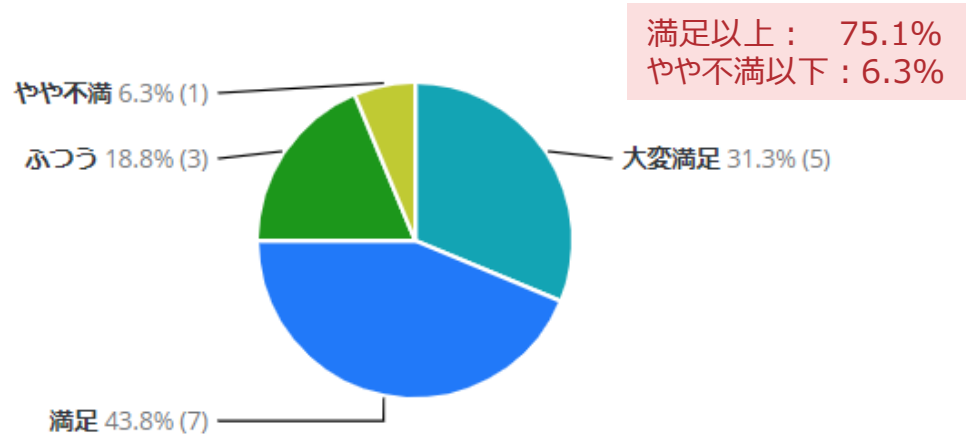
■ブロック報告について



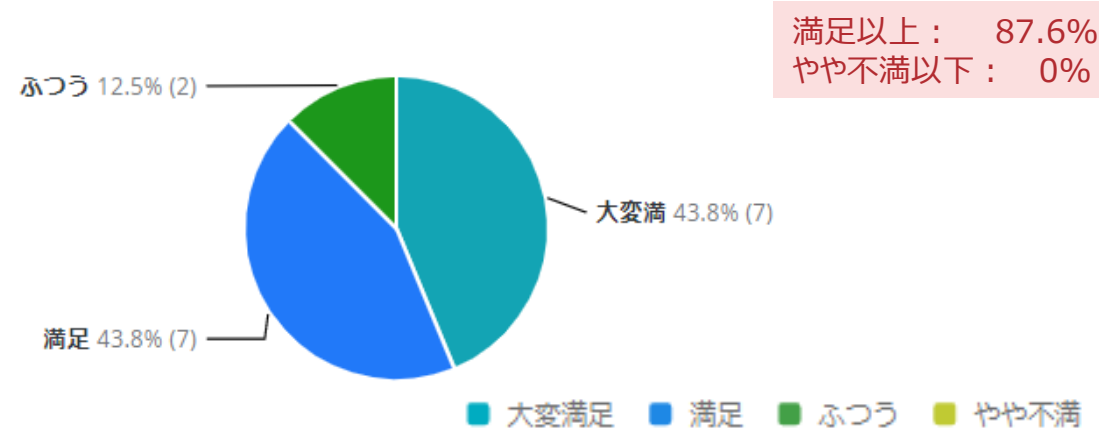
■論文発表について



■時間配分について



■当日の運営について



■ 大変満足 ■ 満足 ■ ふつう ■ やや不満

アンケート回答 (8/8)

『IS研への期待・意見』に関する設問10

設問10

IS研についてのご意見・ご要望 (一部抜粋・省略)

- 今回は会場での参加人数を限ったハイブリッド開催だったが、次回はぜひ対面での開催を期待する。
- 1つの議題や発表に、好き放題言い合えるような研究会になってほしい。
- もう少し時間に余裕があった方がよい。
- 定期的に、他大学、国内外の教育DXのトレンドと先進事例の紹介、メンバー大学間の交流イベントの情報を録画して、VOD方式で情報共有することができないか。
- CS研のように、テーマを決めて複数機関で課題に取り組んでいくような形式が取れると活発化すると思うが、教員中心だと難しいでしょうね。



この資料は、IS研の資料です。
改変・再配布等のご遠慮ください。

国公立大学情報システム研究会 事務局

〒105-7123 東京都港区東新橋1-5-2 汐留シティセンター
富士通Japan株式会社 戦略企画統括部内

ホームページ : <https://csis.ufinity.jp/isken>
E-mail : fj-isken-bureau@dl.jp.fujitsu.com